

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
青森県 青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課
青森市水産振興センター

ホタテガイ採苗速報

多くの地域で大規模産卵

令和3年2月19～26日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月19日、22日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、2月22日に湾内7定点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で23.4、東湾平均で21.4と前回それぞれ26.0、25.8より減少し、多くの地点（青森市奥内、久栗坂実験漁場、むつ市、川内町、川内実験漁場）で大規模な産卵が始まりました（図1～2）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は21.7と前回21.6とほぼ同じ状況です（図3）。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
蓬田村	2月19日	11.1	131.0	50.0	38.1	12.5	24.9 [24.0]	3.3[0.0] (14.7)
青森市奥内	2月19日	10.6	129.0	45.8	35.3	11.2	24.3 [28.9]	20.0[0.0] (6.7)
久栗坂実験漁場	2月22日	11.4	175.5	77.1	43.9	16.8	21.5 [26.3]	50.0[0.0] (9.5)
平内町土屋	2月22日	11.4	155.5	67.8	43.6	15.3	22.9 [24.6]	0.0 (8.8)
西湾平均		11.1	147.7	60.1	40.2	14.0	23.4 [26.0]	18.3[0.0] (10.1)
野辺地町	2月22日	10.3	134.3	65.5	48.7	14.9	22.7 [24.3]	40.0[13.3] (1.1)
むつ市	2月26日	10.0	118.1	58.7	49.5	12.6	21.1 [27.5]	30.0[0.0] (5.0)
川内町	2月22日	10.2	114.0	55.9	48.8	11.7	20.7 [25.0]	13.3[0.0] (2.5)
川内実験漁場	2月22日	10.5	137.6	62.9	45.6	13.3	21.2 [26.3]	53.3[0.0] (2.7)
東湾平均		10.3	126.0	60.7	48.2	13.1	21.4 [25.8]	34.2[3.3] (2.7)
全湾平均		10.7	136.9	60.4	44.2	13.5	22.4 [25.9]	25.7[1.7] (6.6)

[]: 前回の値、(): H5-R2の平均値、【 】: サンカクフジツボによる異常貝率

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
むつ市	2月19日	10.9	149.2	72.5	48.5	18.0	24.5 [21.9]	26.7[0.0] (1.9)
川内町	2月22日	10.5	144.7	62.8	43.2	11.9	18.9 [21.3]	26.7[0.0] (0.9)
東湾平均		10.7	147.0	67.7	45.9	15.0	21.7 [21.6]	26.7[0.0] (1.5)

[]: 前回の値、(): H5-R2の平均値、【 】: サンカクフジツボによる異常貝率

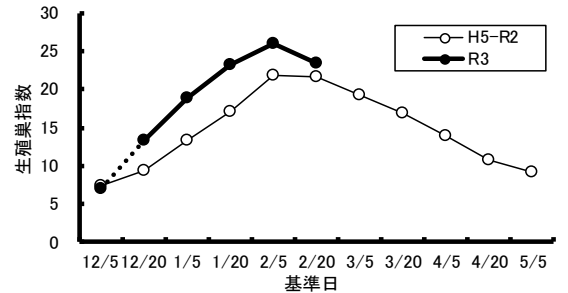


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

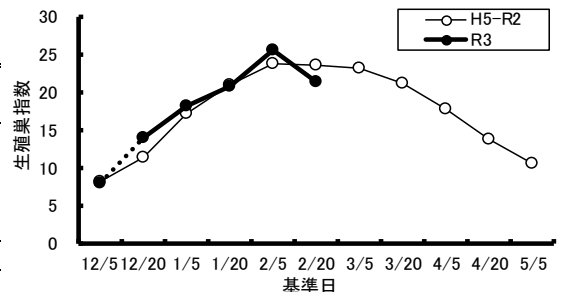


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

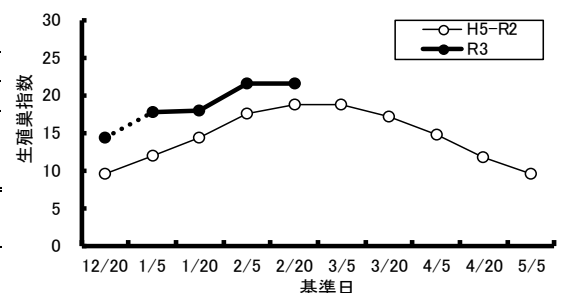


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※調査地点が1地点の場合は破線。

2 海況

各ブイの2月22～28日の週別平均水温は表3のとおりです。15m層の2月第6半旬平均水温は、平館ブイ、青森ブイでやや高め、東湾ブイでやや低めとなっています。

表3 各ブイの1週間(2/22～2/28)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	8.3～8.7	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	2.8～3.1
蓬田ブイ	-	清水川ブイ	-	川内ブイ	3.2～3.5
奥内ブイ	7.1～7.2	野辺地ブイ	4.3～4.4	脇野沢ブイ	-
青森ブイ	6.6～6.9	東湾ブイ	3.1～3.3		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	2.8～3.1		

--: メンテナンス中

3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバは、西湾平均で97個/m³、東湾平均で225個/m³出現しました（図4～6）。ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバは、全湾平均でそれぞれ496個/m³、564個/m³出現しました（図7、8）。

4 今後の見込み

多くの地点で大規模な産卵が始まりました。今後、水温の昇温刺激があると全湾で大規模に産卵する可能性があります。産卵状況、ラーバ出現状況及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

小型のウミセミが多く見られる地区があります。採苗器投入が早まった場合、目合1.5～2分の袋の採苗器には小型のウミセミが入り込むので目合1分の袋を使うことをお勧めします。



①



②

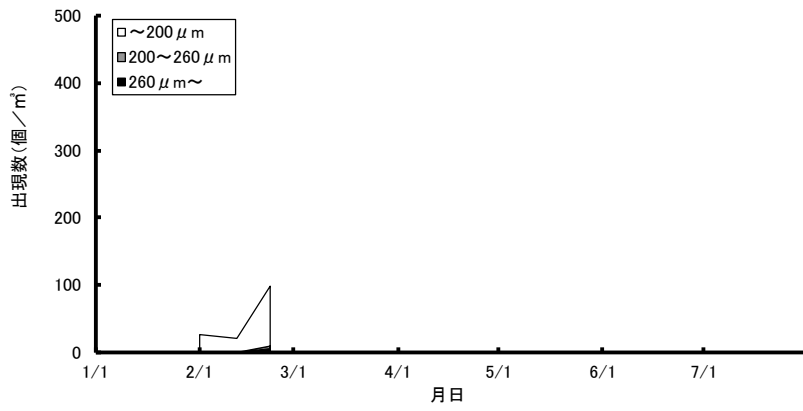


図4 西湾におけるホタテガイラーバ出現数

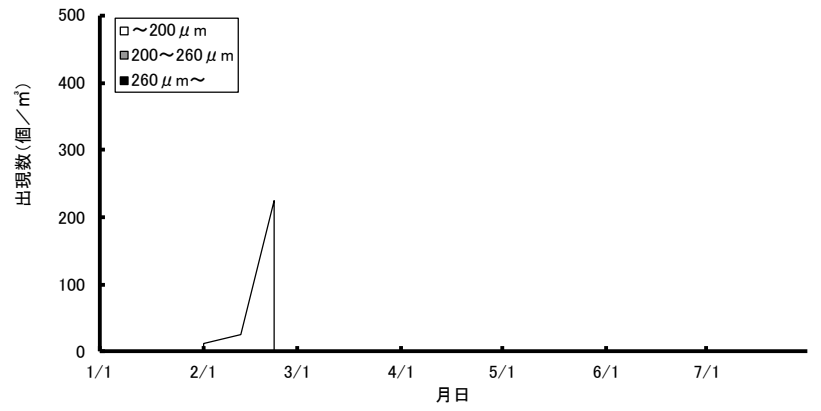


図5 東湾におけるホタテガイラーバ出現数

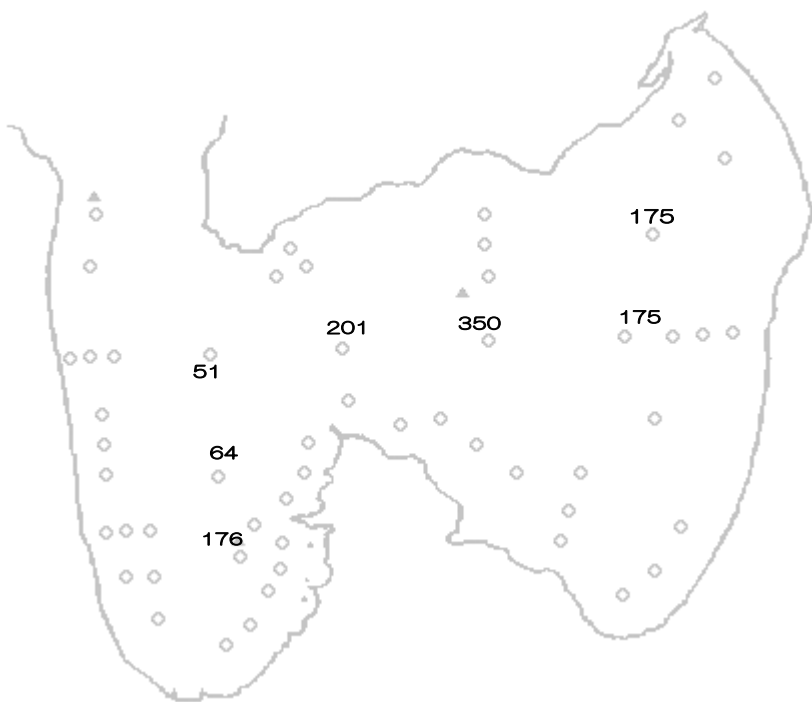


図6 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数(個/m³)



図7 調査地点別におけるムラサキイガイラーバの平均出現数(個/m³)

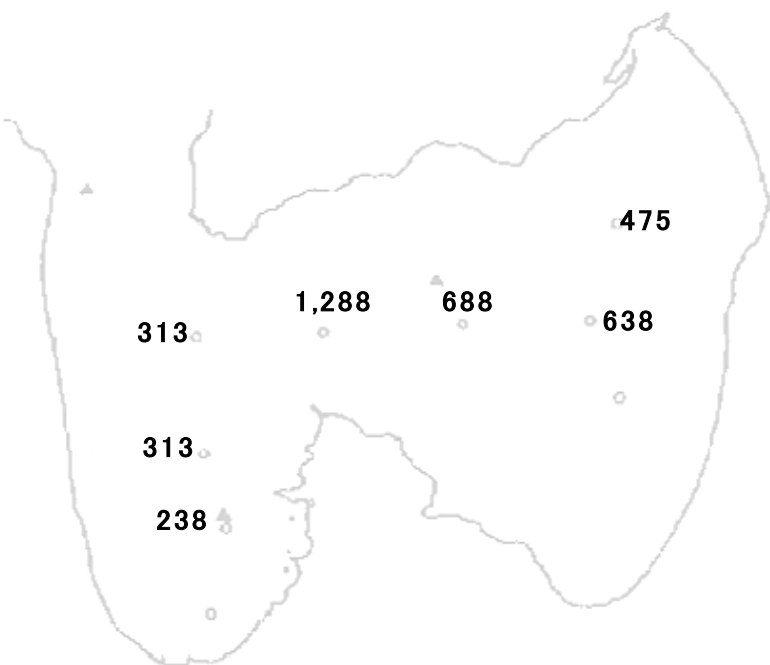


図8 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数(個/m³)